



キーワードの解説



1 緊急地震速報

気象庁が配信する緊急地震速報を震源地周辺エリアの携帯電話に一齐にお知らせするサービスです。

最大震度5弱以上と推定した地震のときに、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせします。

設定方法は、携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話会社にお問い合わせください。

2 北海道防災情報システム

気象庁が発表する気象警報・注意報、津波情報、地震情報などを、あらかじめ登録した携帯電話にメール配信する北海道のサービスです。



空メールを送信して登録

3 津波予報の種類

種別	警戒情報	予想される津波の高さ
大津波警報	高いところで、3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください	3m、4m、6m、8m、10m以上
津波警報	高いところで、2m程度の津波が予想されますので、警戒してください	1m、2m
津波注意報	高いところで、0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください	0.5m

※平成25年3月から津波予報の表現が変わる予定です。

4 海拔表示看板

自分が生活している場所の海拔を意識できるように、市内260箇所の電柱に設置しています。平成24年度はさらに100箇所に設置する予定です。

また、市内の小・中学校と高校の各教室などにも海拔表示シートを設置しています。

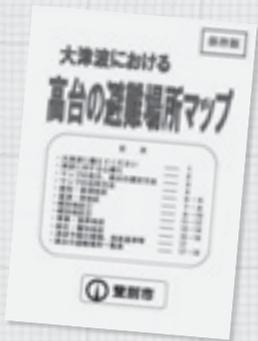


5 登別市の津波浸水予測図

市役所、各支所、市民会館に掲示しているほか、今月号の広報に津波浸水予測図を折り込みしていますので、お住まいの地区の浸水状況をご確認ください。

6 高台の避難場所マップ

津波から身を守るため、地域の町内会と市内46箇所に設定した高台の避難場所をマップにまとめ、平成23年9月に全世帯に配布しました。



7 非常用持出品

救助を受けられるまでの3日間分を想定して用意しましょう。

乳幼児がいる場合は、ミルク、ほ乳ビン、おむつなど、持病のある方は常備薬など、それぞれに必要なものを準備しましょう。

市役所や各支所に非常用持出品のパネルを掲示していますので、備蓄の参考にしてください。



8 サイレン遠隔吹鳴装置

災害が発生、または発生する恐れがある場合は、市内42箇所に設置しているサイレン遠隔吹鳴装置から、音声やサイレンで避難の情報をお知らせします。

また、サイレンのほかに広報車などでも情報をお知らせします。

サイレンの種類	サイレン
大津波警報	3秒鳴らして2秒休みを6回繰り返す
津波警報	5秒鳴らして6秒休みを5回繰り返す

「歩くよりも、自動車の方が早いんじゃない？」
 近所の人の言葉に、Aさんは首を横に振りました。
 自動車での避難は、途中で渋滞に巻き込まれ身動きがとれなくなる可能性があるからです。
 Aさんたちは、徒歩で避難することにしました。
 近くの高台避難場所まで約20分掛かるのは、以前に町内会の避難訓練で確認していました。

Aさんは町内会と市で作成した津波避難計画を思い出し、狭い道や倒壊した建物のそばなどの危険な場所を避け、さらに川のそばも津波の遡上を考え、川から離れるような経路を進み、安全に避難しました。
地震発生から30分後
 「ここまでくれば、もう大丈夫だ」
 Aさんは家族とともに無事高台避難場所へ到着。こうして津波から身を守ることができました。

いかがでしたか？
 皆さんも、Aさんのように迅速な判断と行動で無事に身を守ることができそうですか。
 災害はいつ起きるか分かりません。日中の会社や学校で起きたら？
 冬の場合は？
 いざという時に備えて、家族で避難方法などを話し合っておきましょう。

